

物流管理効率化新技術確立事業（成果重視事業・継続）

1. 趣 旨

- (1) 我が国の食料産業の活性化と消費者に対する安全で安心な食料供給実現のためには、生産・流通を通じた低コスト化や品質管理の高度化が必要である。しかし、生鮮食品流通においては、卸売市場を中心として情報化の立ち遅れによる労働集約的な作業体系となっており、流通コストの削減の余地が依然として大きい状況である。このため、情報技術の効果的導入により、効率的な作業体系を構築することが喫緊の課題となっている。
- (2) 他方、最近目覚ましい発展を見せているユビキタス・コンピューティング技術を活用し、電子タグによる最先端の商品管理技術と取引業務の効率性を追求した取引EDIと組み合わせることにより、相乗的に流通効率化の効果が高まることが期待される。
- (3) このため、生鮮食品流通における検品、分荷、商品管理などの物流プロセスに電子タグを導入し、電子化された取引情報の活用と相まって大幅な労働省力化を実現するための作業体系を開発する。

2. 事業内容

卸売市場を中心とする生鮮食品流通に電子タグを導入することによる最適な作業体系について、産地、卸売市場、小売の各流通段階において実証実験を行い、作業省力化と情報伝達の正確性を測定、分析し、その効果について総合的評価を行う。

3. 平成18年度概算決定額 95,320(99,800)千円

4. 事業実施主体 民間団体

5. 補 助 率 定 額

6. 事業実施期間 平成17年度～平成19年度

〔担当課：総合食料局流通課〕